

## 第 3 学年 図画工作科 学習指導案

3年1組 指導者 岡崎典子

### 題 材 カラフルハッピーフレンド

#### 1 本題材で求める「学びを実感する子どもの姿」

- ◇ 材料の感触を味わいながら、形や色、組み合わせなどから感じたことや想像したことなどを立体に表したり、作品などを楽しんで見たりしている
- ◇ 感じたことや想像したことなどから、自分の思いに合う「友だち」を思い浮かべたり、その形や色、組み合わせなどの造形的な特徴を捉えたりしている
- ◇ 仲間と相互鑑賞し、自分と仲間の表し方の共通点や相違点などの気付きを伝え合いながら、自分の作品を見直したり、新しい発想を加えたりしている
- ◇ 形や色の組み合わせを試しながら作品をつくる楽しさを味わうとともに、相互鑑賞をしながら製作することによさを感じている

#### 2 題材について

本学級の子どもたちは、「色・形いい感じ！」で、絵の具を用いて、水の量や筆の使い方を変えて様々に試しながら、色や形を楽しんで絵に表すことを経験している。その際、仲間の作品のよさや工夫した点を見付け、自分の作品に取り入れようとする姿が見られた。このような子どもたちが、形や色、組み合わせなどの感じを基に仲間とかかわり合いながら、自分のイメージに気付く。このことは、子どもたちが自分の感じ方や見方を深めることにつながると考えた。

本題材は、いろいろな色の紙や袋の形の組み合わせ方を工夫し、一緒にいると楽しくなる「友だち」を立体に表す学習である。いろいろな色の紙を袋につめたり、色を組み合わせたりにして試していく中で、色の組み合わせの感じについて交流する。そして、自分の「友だち」に合う形や色の組み合わせ方を工夫し、楽しい「友だち」をつくる。さらに「友だち」を連れていきたい場所を考えて、置いた様子を撮影して紹介し、自分や仲間の作品のよさや面白さを話し合う。

上記のような学びにおいて、子どもたちが「どのように形や色を組み合わせると楽しい『友だち』になるか」という問いをもつ。その中で、自分のイメージと造形的な特徴との関係を考え、自分のイメージを豊かに広げていくことを大切にしたい。

そこで、次の支援を具体化する。

- 仲間と共に材料にふれながら「試す」場を設定する。そうすることで、自分の感覚や活動をとおして形や色、組み合わせなどの感じを捉えることができるようにする。
- 子どもたちの感覚や活動をとおして発せられた言葉やつぶやき、製作の様子の写真などを、造形的な特徴を基に板書上に分類・整理する。そうすることで、表し方を仲間と比較したりつなげたりして、自分のイメージに気付くことができるようにする。
- 「形の組み合わせ、色の組み合わせを工夫したこと」「自分や仲間の作品を見て感じたこと」を観点に振り返り、交流する場を設定する。そうすることで、自他の表し方のよさを捉えるとともに、仲間と学ぶよさを感じるができるようにする。

#### 3 目 標

- 材料から感じたこと、想像したことを基に、いろいろな色の紙や袋の形の組み合わせ方を工夫し、楽しい「友だち」をつくるができるようにする。

○ 形や色、組み合わせなどの感じについて仲間と交流しながら、工夫して製作したり、互いの表し方を見合ったりすることの楽しさを味わうことができるようにする。

#### 4 評価規準

造形への関心・意欲・態度(関)	発想・構想(想)	創造的な技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
○自分の感じたこと、想像したことを立体に表す活動を楽しもうとしている。 ○自他の作品のよさや面白さを自分の思いで味わおうとしている。	○自分の感じたこと、想像したことを表すために、形や色、組み合わせなどを考えている。	○形や色を組み合わせたり、付け加えをしたりするなど、いろいろ試しながら、表し方を工夫している。	○感じたことを交流しながら、形や色、組み合わせによる感じの違いなどをとらえ、よさや面白さを感じ取っている。

#### 5 指導計画 18M(6時間) 本時

学習活動	子どもの意識	[一人の子どもの意識を中心に示している]
<b>第1次 お気に入りの色の組み合わせを考える 3M(1時間)</b>		
<b>学習内容</b> ・自分の感じたこと、想像したことを立体に表すことへの関心(関)		
□いろいろな色の紙を組み合わせ、袋につめる (3M)	<p>・いろいろな色のお花紙があるよ。お気に入りの色を組み合わせ、透明な袋につめてみるのだね。先生は、自然が好きだから緑を選んだのだね。黄色と組み合わせると明るい感じになって、青色と組み合わせると落ち着いた感じになるね。Cさんは、青色や紫色の仲間を袋に入れているな。紫陽花みたいできれいだね。私は、ピンクの仲間の色を集めよう。袋の口をねじってテープでとめると、ふくらんだよ。この袋で何かつくりたいな。お気に入りの色や形で一緒にいたくなる自分の「友だち」をつくるのだね。次の時間が楽しみだな。</p>	
<b>第2次 袋を組み合わせ、楽しい「友だち」をつくる 9M(3時間)</b>		
<b>学習内容</b> ・形や色、組み合わせを基にしたイメージ(想) ・自分の「友だち」に合った表現の工夫(技)		
□袋の組み合わせ方を試しながら、「友だち」をつくる (3M)	<p>・いろいろな大きさや形の袋があるね。これで、自分の「友だち」をつくるのだね。袋を組み合わせよう。小さな袋に紙をつめて、大きな袋と組み合わせると、頭と体になるよ。頭はピンクの仲間の色で体は緑にしてお花みたいにしよう。Bくんは、傘袋につめた細長い形を「友だち」の足にしているね。それなら、私は小さな袋を使って丸い足をつけてみよう。かわいいな。私の「友だち」にぴったりな組み合わせになったよ。一緒にいると、楽しくなりそうだな。</p>	
□飾りなどを付け加え、自分の「友だち」に合った形や色にする (6M)	<p>・Cさんは、袋の角を絞って、耳にしているね。私も、もっと工夫して、楽しい「友だち」にしたいな。Bくんは、ビニル手袋にお花紙を入れて、頭に飾りを付けているよ。私は、この袋で葉っぱみたいな羽を付けて「空飛ぶお花ちゃん」にしてみよう。目や口があるといいな。色画用紙を切って付けてみよう。楽しそうな顔になって、お話しているみたいだよ。「友だち」をどこかに連れていきたいな。</p>	
<b>第3次 「友だち」を連れていきたい場所に置いて写真を撮り、紹介し合う 6M(2時間)</b>		
<b>学習内容</b> ・自他の作品のよさや面白さ(関・鑑)		
□「友だち」を連れていきたい場所に置き、写真を撮る (6M)	<p>・「空飛ぶお花ちゃん」は、空を飛んでいるように見えるといいな。窓枠にぶら下げて写真を撮ろう。大きな画面に映して、「友だち」を紹介し合おう。Bくんの「友だち」は、今にも走り出しそうでおもしろいね。楽しい「友だち」といつも一緒にいたいね。</p>	

6 本時案 【平成27年 7月 3日 10:30~11:15 図工室】

(1) ねらい 形の組み合わせ、色の組み合わせについて仲間と交流することで、自分の「友だち」に合う表し方を工夫することができるようにする。

(2) 学習過程

[A児は指導計画に示した子ども]

学習活動／子どもの意識	支援
<p>① いろいろな袋の形の組み合わせ方について話し合う (5分)</p>	<p>○前時の子どもたちの</p>
<p>学習内容 ・材料への関心(関)</p>	<p>色の組み合わせへの気</p>
<p>A 私はピンクの仲間の色を集めて「友だち」にしたいな。                      ・ いろいろな大きさや形の袋があるね。今日はこれを使って、自分の「友だち」をつくるのだね。                      ・ 小さな袋に紙をつめて、大きな袋と組み合わせてみると「友だち」の頭と体になりそうだよ。                      ・ 袋と袋は、両面テープで接着するのだね。</p>	<p>付きを写真と共に掲示しておくことで、本時でも色の感じを基にイメージをもつことができるようにする。</p>
<p>② 形や色の組み合わせを工夫して「友だち」をつくる (30分)</p>	<p>○どのような形の組</p>
<p>学習内容 ・形や色、組み合わせを基にしたイメージ(想)</p>	<p>わせができるか試して</p>
<p>・自分の「友だち」に合った表現の工夫(技)</p>	<p>交流する場を設定</p>
<p>A 頭はピンクの仲間の色で、体は緑にしてお花みたいな「友だち」にしよう。                      B 細長い袋を2本使って「友だち」の足にしようかな。                      A 足を付けるのはいいね。お花の葉っぱを足にしよう。小さな丸い足がいいかな。</p>	<p>することで、表現の見通しがもてるようにする。</p>
<p>どのように組み合わせを工夫しましたか。</p>	<p>○子どもたちの発言やつぶやきを、形や色、組み合わせなどの感じを基に板書上に分類・整理することで、仲間と比較したりつなげたりして、自分のイメージに気付くことができるようにする。</p>
<p>A 私の「友だち」には、小さな丸い足をつけたよ。かわいい感じになってきたよ。                      ・ Aさんの「友だち」は、細長い足より丸い足の方が合っているね。足の色が緑色で葉っぱみたいでおもしろいね。                      B ぼくは、Aさんみたいに、色の仲間を集めて足の袋に入れてみたよ。色の順番を考えて細長い袋に入れて工夫したよ。                      ・ Bくんは、細長い足にしているから、足が速くてかけっこができる「友だち」みたいだね。                      ・ 私も自分の「友だち」にぴったりな形や色を選んでみよう。                      ・ 足を四本つけてみたら、動物みたいに立たせることができたよ。</p>	<p>○「形の組み合わせ、色の組み合わせを工夫したこと」「自分や仲間の作品を見て感じたこと」を観点に振り返り、交流する場を設定することで、自他の表し方のよさを捉え、仲間と学ぶよさを感じることができるようになる。</p>
<p>③ 本時の学習活動を振り返る (10分)</p>	
<p>学習内容 ・自他の作品のよさや面白さ(関・鑑)</p>	
<p>・ 自分の「友だち」にぴったりな組み合わせにすることができたよ。                      A Bくんが細長い足を付けているのを見て、私も足を付けたけど、形は「お花ちゃん」に合う丸い形にしたよ。                      ・ 私は足を付けると、座らせることができたよ。                      ・ ぼくは、耳や目、口を付けて、もっと楽しい「友だち」にしたよ。次の時間が楽しみだな。</p>	